

令和8年度 羽生市立東中学校学校経営案

羽生市立東中学校 校長 高野 達

○校訓

昇る陽の如く

○学校教育目標

学ぶ喜びを知る生徒
誠実な生き方ができる生徒
たくましい気力・体力を身に付けた生徒

○目指す学校像

生徒にとって学ぶ喜び 教職員にとって働く喜び
保護者・地域にとって支える喜び のある学校

学ぶ喜び

心・技・体を育み、生徒が人としての成長を実感できる学校

働く喜び

学校力・教師力の向上により、教職員が生徒を伸ばすことができる学校
※教職員行動指針「ともに」

支える喜び

生徒の成長のため、保護者・地域から信頼される学校

○学校経営の重点

公教育・義務教育を担う中学校としての役割と責任を果たし、学校力・教師力・学力の向上を図る

○研究課題

生徒の実態に応じた、授業展開・話し合い活動を基盤とした学力向上
～タブレットの効果的な活用を踏まえて～

令和7・8年度全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を踏まえた市町村・学校への重点的支援事業（県教育委員会委嘱）

1 生徒指導・教育相談の充実

- ・「よさ」を認めて伸ばす積極的生徒指導
- ・生徒指導の初期対応「さしすせそ」（最悪を想定し、慎重に、素早く、誠実に、組織で）により、いじめ重大事態を根絶
- ・教育相談委員会、さわやか相談室、SSRの充実（未然防止・早期発見・早期対応）

2 学ぶ喜びと成長を実感する授業の充実

- ・授業改善の視点：生徒の主体性を引き出す授業
「学習課題（めあて）→「見通し」→「学び合い（話し合い・高め合い）」→「振り返り（成長の確認）」

- ICT（タブレット）の効果的活用を踏まえた、1人1研究授業
 - 家庭学習の充実（効果的な課題、ドリルへの活用、1年90分、2年120分、3年150分）
 - 学習保障（若葉学級、不登校生徒、外国籍生徒等への支援）
 - 教育課程の質と量を伴う確実な実施（学活・道徳・総合・特別支援・少人数指導等）
- 3 話し合い活動を基盤とした「自己決定力」の育成および「考え議論する道徳」の充実
- 学級活動の充実（受容的な学級風土をつくり、互いを尊重し認め合う）
※学級会の充実（1）ア～ウ、（2）ア～オ、（3）ア～ウ
 - 自発的・自治的な活動の充実
- 4 キャリア教育の推進
- あこがれから夢へ、夢から志へ（特別活動との連携を通して）
 - 職業観・勤労観の育成（道徳・総合的な学習・各教科との連携）
 - 自己肯定感・自己有用感の醸成
- 5 「歯科保健」を軸とした学校保健の充実と体力向上
- 歯科保健活動、食育、保健指導、感染症予防の充実
 - 学ぶ喜びを味わう保健体育授業、部活動
 - 健康教育の充実（睡眠不足、SNS・ゲーム等の課題への対応）
- 6 保護者・地域を大切に、支える喜びのある学校づくり
- 迷ったら家庭連絡、家庭訪問を基本（先手を打てば説明、後手を踏めば言い訳）
 - ホームページの着実な発信、地域とのかかわりを大切にした「開かれた学校」づくり
 - 安心・安全な学校（施設管理・安全指導の徹底、リーバー配信等による情報共有）
「行ってきます」から「ただいま」まで、安心・安全をつくり出す
 - 不祥事（教職員事故）根絶のためのコンプライアンス
「未来を創る子供たち 未来を育てる私たち 未来への責任」
「1人にさせない、2人にしない」を合い言葉に、信頼される職場づくり
- 7 働き方改革の推進による働く喜びのある学校づくり
- 水曜日をノー残業デー、部活動等なし 17：30退勤
（月火木金：19：00退勤目標） • 定時退勤ウィークの実施
時間外在校等時間月45時間、年360時間以内を目指す
 - 計画年休（年間10日） • 校内研修は量より質
 - 生徒の欠席連絡等はリーバーを活用 • 通知文等はリーバーに添付